
ラビリンス

二模羽作

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ラビリンス

【Nコード】
N8142Y

【作者名】
二模羽作

【あらすじ】
東京理科大学に通う、榎本湯雲えのもとゆくもは普通の大学生であった。あの事件が起きるまでは……

《東京空襲》と名付けられた事件が起きたとたんに彼の運命は大きく変わってしまった。

彼は【一般人】から政府から【指名手配者】となり、追われる身となった。

生きる意味を見失い、生きる希望を奪われ、
死を選ぶ事もできず、死に怯える彼。

そんな彼の目の前に現れた一人の元日本国軍女性兵士。それも、軍
事力の中心を担う【超能力者】であった。

彼らは生き延びるために、逃げることを選んだ。

1) プロローグ(前書き)

この物語はフィクションです。実際の人物名、団体名とは一切関係ありません。

1) プロローグ

「いたぞ！捕まえろ！」

ひっそりとした暗い路地に俺はいた。疲労から足は重く、力を注ぐ度に激痛が走り意識を手放しそうになるほど。

そんな中耳に届いた野太い男の声。

その声に条件反射で心拍数が上がり、口の中が一気に乾き始める。嫌な汗も身体中から吹き出ている。

振り向けば片手にハンドガンをもち、軍服を着た数人の男たちがこちらに向けて銃を構えていた。

足に走る激痛に顔をゆがめながらも、その足に鞭を打つ。

4

その男達とは反対の方向に向けて、今出せる限りの全力で走り出す。その数秒後、後ろからは乾いた発砲音が轟き、次いで俺の足元のタイルを粉々に砕いた。軍が使っている弾は通常の鉛弾ではなく、銀弾である。それ故に密度も高く威力も上がる。

路地にあるアルミ製のゴミ箱に当たれば火花を散らしつつもそのゴミ箱を高々と空中へと放る。

その威力の高さに驚きつつも足を動かすことをやめない。

やがて、一つの曲がり角に行き当たった時に俺は足元の地面が抜け

る思いだった。

――行き止まり。

目の前が急に真っ暗になる。それが行き止まりによって景色が見えないせいなのか、それとも今の自分の心理状態を表した隠喩なのかは分からない。

ただ自分の運の悪さを嘆いて、あいつらが諦めてくれるのを祈った。だが、人生そううまく行かない。

ブーツの奏でる心地良い硬質の音。マガジンを入れ替える独特の音。安全装置が外された音。全てが俺の心臓を激しく脈打たせる。

まだ姿が見えないにも関わらずここまでの恐怖を与えられる。姿が見えない故の恐怖なのかは分からないが、銃を突きつけられる自分を想像してしまうと、何か胃から込み上げてくる物がある。

だが、そんな想像も終わる。軍服の男達を見ると先のことなど考えられなくなる。頭の中はなにも無い真っ白の状態。

悲鳴をあげようにも声が出ずに虚しく空気が漏れるだけ。必死に動かした足にはチカラが入らなくなり尻餅をついてしまう。

――死ぬのか？

少しでも距離を取ろうと後退りしてみるものの、僅か数メートルで背中が高いコンクリートで作られたビルに当たる。

――このビルが忌々しい……

やがて、赤いレーザーポイントが俺の額に向けて標準が合わせられた。

「終わりだ、榎本湯雲」

えのもとゆくせ

そこでやっと、自分に襲いくる死を突きつけられ、唐突に理解した。

そこからは意外だった。今までの恐怖とそれからくる焦りはどこへ行ったのか。

自分の死を自覚すると人はこうも冷静になれるのか……

そんな中俺は始まりのあの日を思い出していた……

俺を、俺たちを不幸のどん底に突き落としたあの日を、あの事件を

…… 《東京空襲》

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8142y/>

ラビリンス

2011年11月24日02時54分発行